

**Challenge Together
Success Together**

レセプトシステム統合のご提案

(3時間の打ち合わせ後3日後に作成)



無料で始めるDX・AI変革支援
(AI・ウェブシステム開発の提案書作成サービス)

VIET JAPAN PARTNER GROUP



VIET JAPAN PARTNER
ベト・ジャパン・パートナー



VIET JAPAN PARTNER
COOPERATION



VIET JAPAN DIGITAL
ベト・ジャパン・デジタル



Vidi Marketing

CONTACT

contact@vj-partner.com

vj-partner.com | vj-digital.com | vietjapan.co

l.vjp.group/DxSupport



現状の課題

1. システムのビジョン

- 1-1 整骨院・訪問マッサージ・鍼灸のレセプトシステムの統合
- 1-2 マイナンバーカード個人認証の対策
- 1-3 オンライン請求への対策

2. 現在の問題点

- 2-1 整骨院向けレセプトシステムの不具合の解決
- 2-2 システムそれぞれ2バージョンあるユーザーの対応

3. 検討・懸念事項

- 3-1 法令改定への今後の対応
- 3-2 外部システムの連携検討
 - ・電子カルテ
 - ・待合・予約
 - ・POSレジ連携

1-1 整骨院・訪問マッサージ・鍼灸のレセプトシステムの統合

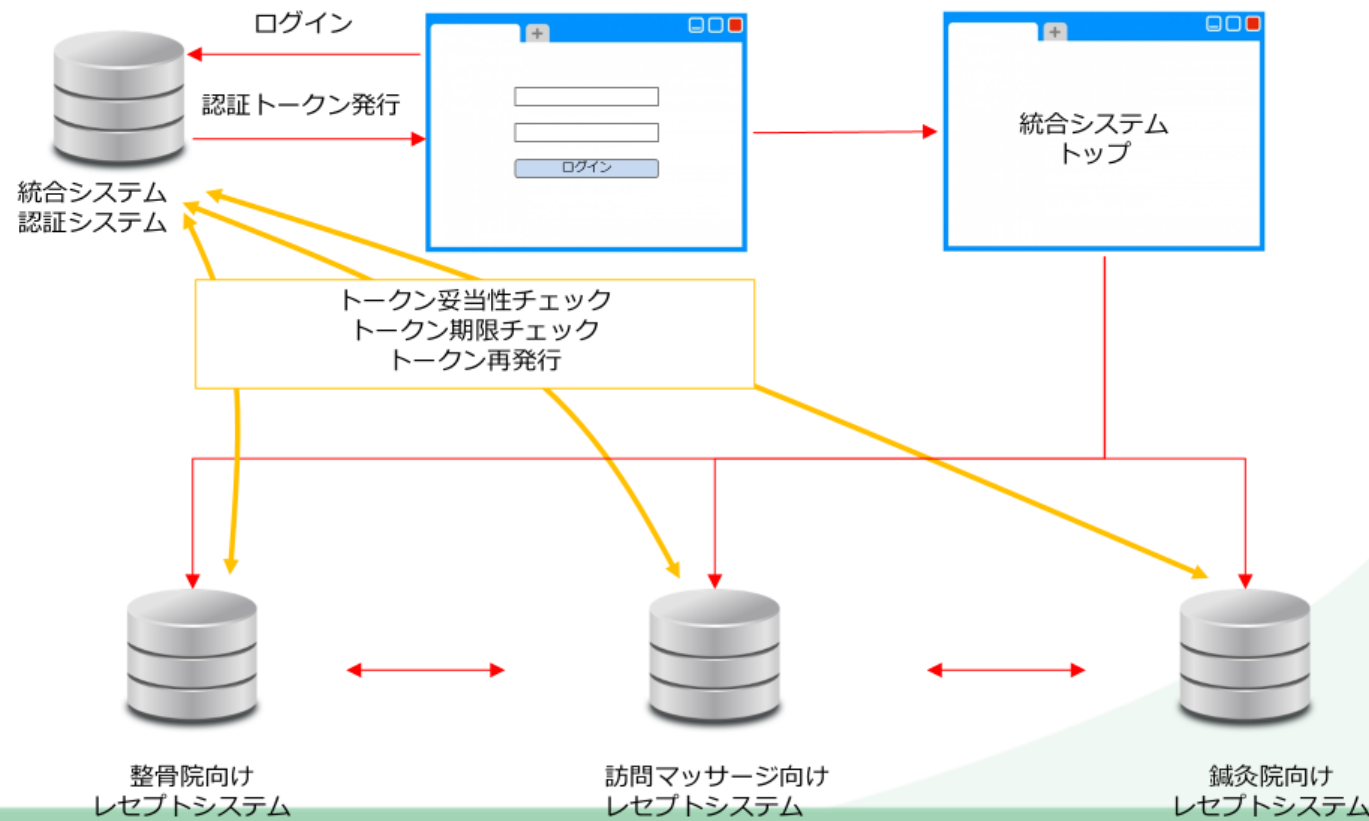
- それぞれのシステムのバージョンアップ完了もしくは近日リリースなので、統合システム再作成は現実的ではない。
- 統合サイトトップを作成し管理画面のシングルサインオン（SSO）にて連携し、患者マスターの同期を行い連携を行う

管理者シングル・サインオン

- 管理者ユーザーを統合システムのユーザーマスターへ移行
- 統合システムに認証システムを組み込む
- 共通の認証トークンを発行しログイン連携を行う

懸念事項

※管理ユーザーID・患者IDを統合する際に重複しているIDをどうするか？



1-1 整骨院・訪問マッサージ・鍼灸のレセプトシステムの統合

- 患者登録をトリガーに各システムの患者マスターへ同期処理を行う

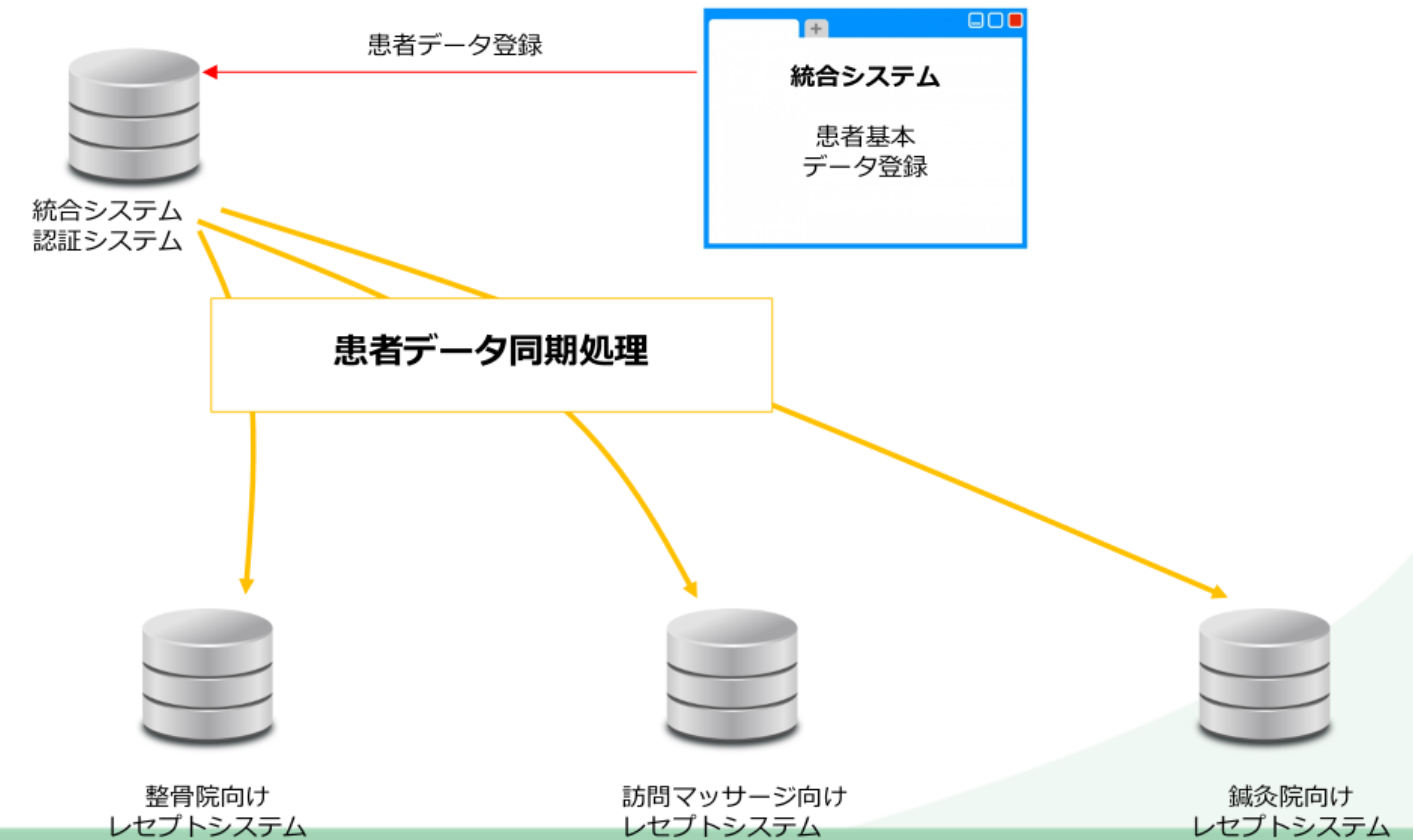
患者データ連携

重複患者の名寄せが必要

- 統合システムにて患者登録を行い各システムの患者マスターを同期を行う。

懸念事項

- 患者登録共通項目は統合システムにて行い・独自項目は各システムで行う際のUI/登録フロー
- 単一システム利用ユーザーの場合のユーザー操作画面フローと管理画面の操作画面フロー



1-2 マイナンバーカード個人認証の対策

医院向けのレセプトシステムでは必須になるマイナンバーカード個人認証の将来的な対応をどうするか？

現行資料（参考）

訪問診療・柔整あはき等にオンライン資格確認を導入

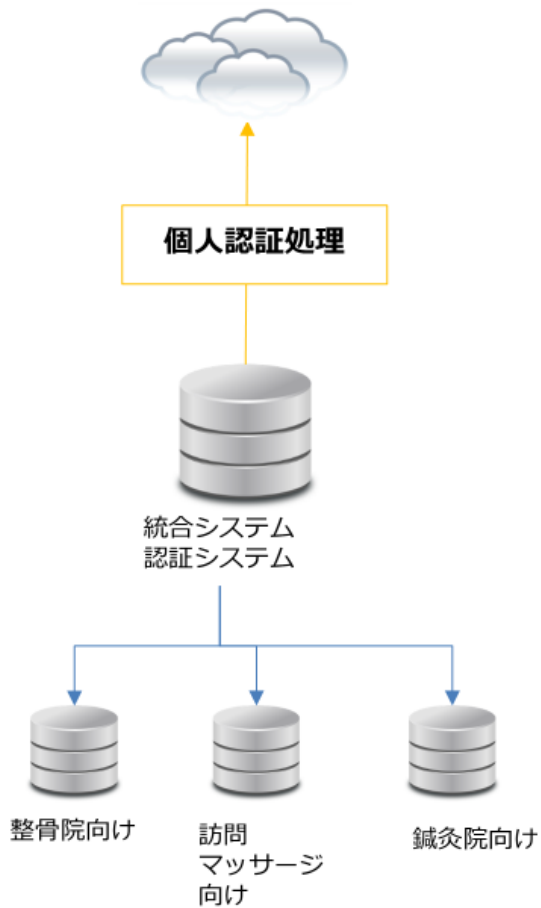
- ・ 訪問診療等の居宅における資格確認の仕組みの構築。
- ・ 柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師
- ・ はり師・きゅう師の施術所等に資格情報のみを取得できる簡素な仕組みの構築。
(オンライン資格確認義務化の例外医療機関等について、簡素な仕組みを導入し、必要な資格確認を行える方向で検討。)
⇒ 事業者のシステム改修及び利用機器の導入支援（173億円）、支払基金
- ・ 国保中央会のオンライン資格確認等システムの改修（51億円）、保険者等のシステム改修（56億円）を実施。
※上記の予算は、厚生労働省において第二次補正予算に計上。

現行補助金（参考）

顔認証付きカードリーダー：無償提供
診療所・薬局：42.9万円

医療機関向けのマイナンバー個人認証システムは2023年4月より必須になるが、整骨・マッサージ・鍼灸はいつ強制施行されるのか？
その際の補助金は現行の医療機関向けの内容を同等か？

- ・ 外部システムとしてマイナンバー個人認証機能を作成する
- ・ 今後の統合システムでの患者ID統合の際の患者同期システムを構築すれば統合システムからの個人認証を行うことが可能



1-3 オンライン請求への対策

医院向けのレセプトシステムでは現在オンライン請求が必須だが本システムの将来的な対応をどうするか？

参考資料

- 電子レセプトは、点数表（医科・DPC・歯科・調剤）ごとに、「電子レセプト作成の手引き」を参考に、標準仕様及び記録条件仕様に沿って、レセプト電算マスターコードを使用して作成します。
- ・ 記録条件仕様とは
請求省令の規定に基づき、電子レセプトに記録する情報（医療機関情報、保険者情報、診療行為情報、医薬品情報、特定器材情報など）の記録方法を定めたフォーマット。
 - ・ 標準仕様とは
保険医療機関から審査支払機関に電子レセプトを請求するにあたって、医療機関において事前に点検が必要な事項を定めた仕様。
 - ・ レセプト電算マスターコードとは
記録条件仕様に記録する情報のうちコードで表現できるマスターコードで、代表的なものには、傷病名マスター、診療行為マスター、医薬品マスター及び特定器材マスターなどがある。

https://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf

- ・ 出力データはCSVなのでデータ出力は問題ない
- ・ 通信方法などは指定があるので規格・機器を導入
- ・ 個々のシステムから出力しても問題ないがシステム統合後は統合システムから出力したほうが効率的



2-1 整骨院向けレセプトシステムの不具合の解決

現状は把握していないので、解決方法は不明で現状の把握・解消方法の決定が必要です。
以下のパターンが考えられ今後の対処法の検討が必要かと思えます。

1. リソース不足によるテスト未完了でのリリース



テスト要員を拡充しテスト計画書の作成
詳細なテスト実行により解消

計画的なテスト仕様書を作成し、プログラム改修毎にすべてのテスト項目を実行し、
工程毎に担当者の設置、最終工程まで合格にてリリース判定とする。

2. 改修・法改定の対応が困難



プログラムソースから設計書を作成する

現在のプログラム構造の理解が出来ずに場当たりの改修によりプログラム改修が困難に
なっている場合、現在のソースから設計書を作成し改修作業毎に更新し担当が変わっても
処理の把握出来るようにする。

3. 根本的に処理が間違っている



システム再作成

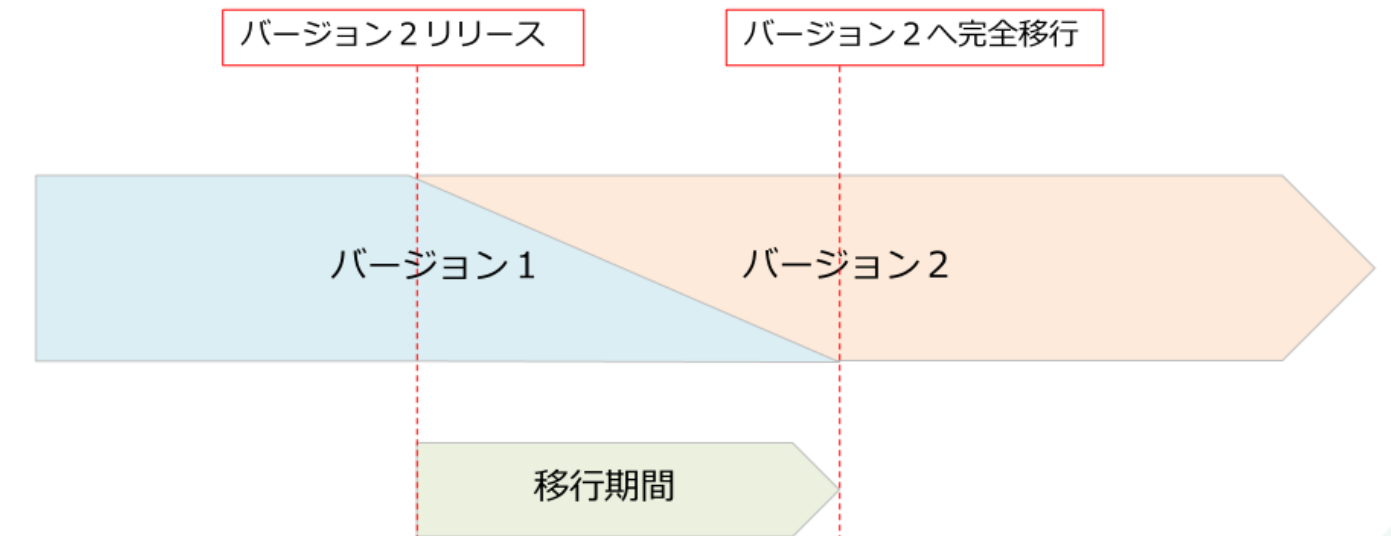
現在のプログラムが構造的に把握が不可能、または処理が破綻していると判断される場合
はシステムの再構築が必要になります。

2-2 システムそれぞれ2バージョンあるユーザーの対応

現在システムのバージョンアップにより2バージョンのユーザーが存在し、改修・サポートの工数がかさみ、経費増、
サポートの煩雑化になっている。

運営・経営方針によるので、提案は困難です。

一般的にはサポート期限を設けて移行期間内にすべてのユーザーを移行させるのが業務の効率化になるかと思われます。



3-2 外部システムの連携検討

電子カルテ

基本情報は現在のレセプトシステムで入力しているので、システムに内包したほうが開発効率は良いと思われます、しかしカルテ部分のみのアップデートに対応するためやオプション価格の設定等を考慮するためには、別システムとしての開発も検討出来ます。



内製で共通のデータベースを使用し別システムとして作成することによりデータ連動性・操作性を確保する。

待合・予約

現在も待合・予約システムが多数存在します、システムとしてもレセプトシステムと機能が分離出来る部分なので外部システムとして開発することも可能だと思われます。



弊社で医院・歯科向け電子カルテ連動予約・受付システムの制作実績があるのでご相談ください。

POSレジ連携

現在システムの会計画面とキャッシュドローワーを連携するか？既製品のPOSレジと連携するか？になるかと思います。



POSレジは一般的に高額になるので連動を検討する場合キャッシュドローワーを検討したほうが施設向けには良い提案になると思われます。

**Challenge Together
Success Together**

他のサンプル提案書は
こちら

l.vjp.group/DxSupport



JAPAN

無料で始めるDX・AI変革支援

AI・ウェブシステム開発の提案書作成サービス

お気軽に弊社にごお問い合わせください。

貴社のDX・AI変革を効果的かつ効率よく実現するお手伝いいたします。



VIET JAPAN PARTNER GROUP



VIET JAPAN PARTNER
ベトナム・ジャパン・パートナー



VIET JAPAN PARTNER
COOPERATION



VIET JAPAN DIGITAL
ベトナム・ジャパン・デジタル



Vidi Marketing

CONTACT

contact@vj-partner.com

vjp.group | vj-digital.com | vietjapan.co